

本時のねらい

よりよいニュースを制作するための課題を見出し、解決に向けて目標を設定することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

自分たちが住む地域の魅力をニュース形式でまとめ、隣接校との遠隔合同授業にて発信してきた。本時では、ロイロノートを使って相手校からのアンケートを配付し、改善点を見つける。また、子どもたちはニュースの内容について検討するグループ(ジグソー班)と、アナウンサーや原稿、カメラマン、編集者などの役割を担当するグループ(エキスパート班)の2つのグループに所属し、それぞれのグループにおいて、共有ノートを使って共同編集をする。目的に応じてシンキングツールを選択させることで、課題解決に向けて主体的に取り組めるようにする。

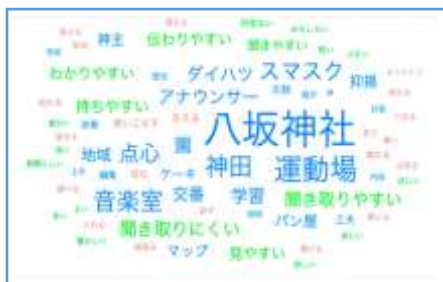
活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

タブレットPC (iPad) ・電子黒板 ・AIテキストマイニング ・協働学習支援ソフト (ロイロノート) ・プレゼンテーションソフト (iMovie)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○視聴者アンケートを分析し、自分たちが制作したニュースがどのように伝わっているかを考える。	・アンケート内容をAIテキストマイニング活用して提示することで、抽出情報から現状を素早く把握させる。
展開 (30分)	○アンケートから抽出した2つのニュース動画を比較し、ジグソー班で課題を出し合う。 ○エキスパート班で集まり、解決方法を考える。 ○ジグソー班に戻り、エキスパート班で考えた解決方法を伝える。	・Xチャートを使って、役割ごとの課題を整理させる。 ・ヘッドフォンを使い動画を視聴することで、自分の気になる箇所を自由に視聴することができる。 ・2つの視点で考えられるよう、共有ノートをグループ数あらかじめ作成しておく。 ・課題解決方法に応じてシンキングツールを選択したり、ツールを切り替えたりしながら整理、分析させる。 ・提出箱を使って共有することで、他者の考えに気づかせる。
まとめ (5分)	○本時をふりかえり、次時の学習へ繋がる各自のめあてをもつ。	・アンケート機能を使ってふりかえりの視点を与え、次時の学習に生かせるようにする。

1人1台端末を活用した活動の様子



AIテキストマイニングを使って、視聴者アンケートを分析



グループごとに目的にあった思考ツールを選択し、整理・分析した例



グループ学習の様子

児童生徒の反応や変容

子どもたちはAIテキストマイニングから、比較する2つの動画を選び出し、課題解決に向けて積極的に話し合うことができた。動画の視聴では、同じ箇所を繰り返し見たり、音量を調節したりすることで、テロップの出し方のずれや撮影時のノイズなどにも気づくことができた。アナウンサー体験など、これまでの学習資料を持ち出し、よりよいニュースにするための解決方法見出すグループもあった。情報の出し入れが簡単にできるICTの良さを実感できた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

ジグソー学習を取り入れることで、全員が自分の役割に責任をもち、積極的に課題解決に向かうことができた。共有ノートを使って、意見を出し合い、シンキングツールでまとめたものを提出箱に入れておくことで、ジグソー班に戻った際も、各自がすぐ近くで画面を見ながら説明したり、聞いたりしやすかった。